

上田西部地域協議会会議録

日時 平成 18年 11月 6日(月) 午後 7時 30分から午後 9時 05分

場所 上田市西部公民館大ホール

出席委員 表委員、金井委員、小林委員、菅沼委員、鈴木委員、滝澤委員、竹内委員、中沢委員、祢津委員、原委員、藤澤委員、松本委員、宮尾委員、宮下委員、村山委員、母袋委員、森泉委員、横沢委員、和田委員

欠席委員 丸山委員

市側出席者 原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長補佐、柳沢主査

1 開会(原沢自治振興課長)

2 会長あいさつ(宮下会長)

年内に総合計画の諮問が予定されているので、本日はその概要について勉強会を兼ねた会議となります。総合計画は、どのあたりにポイントがあって、私ども委員としてどう行動し、提言等していったらいいのかについて理解を深める機会にできればと考えている。

3 報告事項

(1) 団体選出委員の変更について

(2) 総合計画審議会委員について

(原沢自治振興課長)

前回の地域協議会で、野口委員を総合計画審議会委員に選出したが、一身上の都合により、地域協議会委員及び総合計画審議会委員を辞任したい旨申し出があり、10月10日付けで辞退届を受理いたしました。

宮下会長とも相談いたしまして、推薦母体でありますうえだ環境市民会議に後任者の推薦依頼をいたしまして、本日出席いただいております滝澤道子さんの御推薦をいただきました。総合計画審議会の部会がすでに開催されており、また選出委員が市民生活環境部会に所属することもあり、滝澤さんに総合計画審議会委員も併せてお願いし、第2回の部会にもご出席いただいたところです。

委員の皆様には、事後承諾という形となり恐縮ですが、本日御了解をいただきたくよろしくお願ひいたします。

(宮下会長)

ただいま事務局から委員の変更についてご説明をいただきましたけれども、出席委

員の皆様におかれましては、御了承いただくことでよろしいですか。

- 出席委員 了承

〔滝澤委員 自己紹介〕

4 会議事項

(1) 新市建設計画（合併協議会策定）の概要について

(宮下会長)

新市建設計画の概要について、事務局から説明をお願いします。

- 新市建設計画について事務局（原沢自治振興課長）から説明 -

(宮下会長)

ただいまの説明の中で、ご質問等ありましたらお願いします。

(委員)

基本方針の中に、市民との協働とか行政まかせにしない住民主導のまちづくりというようなことが出てきているが、これを西部地区に当てはめた時に、人口の推計から、西部地区がこれから5年先、10年先西部地区がどのように推移するのか、資料を提示いただかないと、議論が進まない。

例えば、新町と城北は、5年先、10年先の人口の形態はどうなるのか、高齢者が増えていくのか、それとも中年層が増えてくるのか、子供が減少しお年寄りだけの地域になっていくのか、地域の担い手が少ないところに西部地区の将来計画を描いていっても、いかななものか。

人口推計をグラフで出していただかないと、議論が進まないのではないかと思う。

例えば西小学校で10年先に児童が50人くらいになってしまう、塩尻小学校も50人くらいになってしまうという時に、合併の問題が出てくるとか、そういったことを地域協議会で話し合っ、これから先のことを計画に反映させていくというところが見えないといけない。

地域協議会でどんなことを話し合っ、分権型を目指していくのか、ある程度西部地区に関係する資料を市で出していただかないと、西部地区の将来像も描けないと思うがどうか。

(原沢自治振興課長)

西部地区の人口推計につきましては、検討させていただきたい。

地域のことを議論していく中で、基礎的なデータとか資料が必要という場合は、協議会の場で説明等させていただきたいと思っている。特定分野に絞って検討す

るといような場合、市の話しを聞きたいといようなことがありましたら、担当課が伺って説明させていただくことも可能ですのでご検討いただきたい。

(委員)

人口統計の数字は市が保有しているものであり、個人情報ではないのだから、きちんと開示するものは開示していただかないと議論が進まないのではないかということである。

5年先は、小学校へ入学する子供が何人いて、高齢者も60歳を超えてくる方が何人くらいいて、地域を支える中間層はどのくらいいるのか、人口の統計がなければ、担い手が何人いるのかわからない、高齢者数がどのくらいになるのかわからないということでは、議論にならない。

(原沢自治振興課長)

この地域の現況がわかる資料をできる限り提示できるよう進めてまいりたい。

(宮下会長)

人の問題は、地域の中で議論していく基本的な問題である。将来の人口推計がどんな形になるのか、資料が出せたら出してほしいということだと思う。

担当課で用意できるものものなら、用意してほしいということでもよろしいですか。

(委員)

そういうことです。

(宮下会長)

ほかにいかがでしょうか。

(委員)

先程の説明の中で、それぞれの担当の分野の職員が出席して説明するということだが、協議会として要請するのか、委員の立場で要請できるのか。

(原沢自治振興課長)

協議会として、ある分野について議論したいという場合に、議論する前段として市からの説明が必要になる場合があるかと思えます。そういった場合に、協議会として次回説明をお願いしたいということになれば、次回の開催時に担当が伺って、説明させていただくこととなります。

(宮下会長)

各専門分野の話を協議会の場で、深く掘り下げてお聞きしたいということであれば、話し合っ意見がまとまれば、西部地域協議会として、事務局を通じて担当課へ依頼するということでもあります。

(委員)

テーマを絞って話し合いをしていかないと、委員がバラバラになってしまう。広範囲の中で協議をしていくのは大変だと思うが、西部地区の重点的な施策を3つくらいに絞って協議していかないと、まとまっていけないと思うがどうか。

(原沢自治振興課長)

大事な視点だと思います。皆さんで検討していただき、テーマを絞って議論していきたいということであれば、そのように進めていただき、進めていく中で必要とあれば、担当課が同席させていただきご説明申し上げ、対応させていただくこととなります。

(委員)

市の担当課も来てもらえるということなので、毎回早晩的に進めるよりは、分野をいくつか絞って、重点的に話し合っていた方がいいと思う。

総合計画の答申は、いつごろになるのか。

(原沢自治振興課長)

年内には諮問される予定である。来年の3月ころまでに、答申いただくようになるかと思います。

(委員)

これまで自治会等の場で話し合われてきている中で、採りあげられている西部地域の課題とか問題点あるいは今後検討すべき事項について、教えていただければありがたい。

(委員)

西部地区にも自治会連合会があって、各自治会から様々な問題点等が出され、協議をし、市へ要請するなりお願いをしている。

また、自治会単位でもやってもらうことがあれば、直接市へお願いしているいろいろとやってもらっている。

(委員)

地域協議会を設置するという提案があって以降、行政当局と自治会連合会で、1年以上もかけて様々な議論をしてきた。自治会活動の中で、地域課題については解決してほしいということで、自治会あるいは自治会連合会が直接に市長や担当部局へお願いしてきており、ある程度のことは市の方でも予算等対応いただき、一定の改善は進んでいる。

今回は、地域協議会の立場で見た時に、いったい西部地区にはどういう課題があるのか、こういう議論をやらうとしている。各種団体の皆様が出てきているところで、いったいこの協議会で議論する課題は何かという課題探しをしているのではないかと思う。

ですから、自治会は自治会として、住民要望(課題)を受けて市と交渉したり、各種団体と議論していきますということで、この地域協議会では、各種団体の皆様が入っているわけですから、自分たち団体の目で見ると、この西部地区にはどういう課題があるのか、ある程度それぞれの課題を出し合って、問題ごとに整理して議論を深めていけば、西部地域の将来の姿が議論の中から出てくるのではないかと思う。

(宮下会長)

自治会あるいは自治会連合会でも、いろいろな取り組みをしてきている。課題もあり、市へ陳情を行ったりしてきている。この地域協議会は、屋上屋ではないかというような批判もあったところであるが、そうではないということで協議会が発足したわけですが、目線を高くした議論をこの場で大いにやってもらって、市へ提言等していこうではないかということでもあります。

(委員)

基本方針の中に「小さな単位を大切にすまちづくり」とあるが、「小さな単位」とは、この地域で言えば、西部地区を単位にするということでしょうか。

(原沢自治振興課長)

コミュニティの単位には、自治会もあるし、もっと小さな単位もありますが、地域協議会は、公民館単位に設置しております。

(委員)

建設計画では、広範囲な事項を対象に掲載されているが、西部地区に係わる部分について、論議していくということか。

(原沢自治振興課長)

西部地域協議会は、西部公民館の区域を単位としております。基本的には西部地域に関することについて、例えば市から諮問したり、意見を聞かせていただきたいといった投げ掛けをさせていただく場が、この協議会であります。また、もう一つの特徴として、市から投げ掛けさせていただくほかに、西部地域の皆さんで議論したいという場合は、話し合ってもらっていただいた意見を市に対して提言いただくというように地域のことについて意見を述べるといった機能もあります。

現在市内には9協議会ありますので、基本的には、それぞれの地域内に関することについて議論していただくこととなります。

(委員)

課題については、全体のものと西部地域に関するものを分けて考えないといけない。やはりテーマを2、3つに絞って議論していかないと、まとまっていけない。

(原沢自治振興課長)

この協議会は、あくまで委員さんが中心となって進めていただくものであり、テーマを設けて皆さんで議論して、まとめていただくといった形で進めていただいても結構である。

(委員)

各委員がそれぞれの立場で西部地域を見た時に、こういう課題なりこういう問題があるということで、掴んできて頂いて協議会を出していただき、それを整理して進めればどうかと思う。

(会長)

次回の開催は、いつごろになるか。

(原沢自治振興課長)

12月に総合計画の諮問が予定されているので、諮問ができる状況となったところで、会長と相談させていただき日程を決定していきたい。

(会長)

早めに相談いただき、日程をお知らせできるよう進めたい。

(会長)

先程話が出ましたテーマ別、分野別の課題については、次回の協議会までの宿題とさせていただきたい。次回各委員さんから出していただいたものをまとめていきたい。

(委員)

協議会の開催時間であるが、今回は午後7時30分から始めたが、次回からは午後7時からどうか。

(会長)

他の地域では、昼間開催しているところもあると聞いている。皆様のご意見を伺いたい。

(委員)

午後7時からの開催だと、終わりの時間を気にせず進められる。早めにはじめ早めに終わることでどうか。

(会長)

次回の開催は、午後7時開会ということにさせていただきたい。

(小宮山自治振興課課長補佐)

次回総合計画の諮問が予定されているが、この協議会における委員さんの意見の出し方について、当方でマニュアル化しているので、次回説明させていただきたい。本日も委員さんからお話がありましたように、情報を当方からあまり投げ掛けていないために、何を議題にしているのかわからない部分があると思う。市の行政資料等を事前に郵送させていただき、それをもとに意見を出していただくことでお願いしたい。

(委員)

諮問というと何が出てくるのか。総合計画の審議会の諮問がされるということか。総合計画審議会へも出席しているが、11月17日第3回目の審議が予定されており、そのあと12月15日に審議が予定されているが、具体的な総合計画の審議の段階まで進んでいない状況である。12月に総合計画の諮問がされるとなると、市で計画ができていくといことであれば出したほうがいいのではないか。

総合計画審議会でも具体的な内容が出ていないのに、なぜ12月に諮問できるのか疑問である。

(原沢自治振興課長)

地域協議会へ諮問されるのは、新市建設計画の地域別の整備方針の部分である。

総合計画審議会で、計画を審議し策定を進めるわけですが、その中で地域ごとの整備方針の部分については、地域協議会へ諮問され、協議会の答申をもとに総合計画審議会で審議し、調整を図る中で決定していくといった手順になります。

(原沢自治振興課長)

次回の日程につきまして、できるだけ早めに皆さんにお知らせし、併せて資料等をお送りしたと思いますので、よろしく願いしたい。

以上をもちまして第2回西部地域協議会を終了とさせていただきます。